



6

2013 JUNE

あなたと町を結ぶ広報

なみえ

平成25年6月 No.569

毎月1回1日発行

- ② 町議会議員抱負
- ④ 選挙投票率・なみえの“しゃべり場”
- ⑤ 保健だより
- ⑥ みんなでともに乗り越えよう
- ⑧ 町外コミュニティの整備に向けて
- ⑨ 本格除染にあたってのご連絡
- ⑩ まちの話題
- ⑫ みんなの図書館・学校だより
- ⑭ 情報ぴっくあっぷ
- ⑮ 浪江のころ通信
- ⑳ 連絡先一覧

今月の表紙

笑顔いっぱい運動会（5月18日 浪江小学校）

Proud!
東日本大震災の復興を支援しよう
Japan



町議会新たな出発



(五十音順・敬称略)

泉田 重章
(北幾世橋)

3・11の発災以来2年間が過ぎても、賠償と除染が進まず、私たちの心は癒やされません。将来の浪江を担う子どもたちのために、町民の思いが込められた復興計画実行に必要な予算を、一刻も早く獲得すべきです。今こそ議会はアイデアをもって、行政と車の両輪のごとく声を出して、働かなければなりません。

小黒 敬三
(高瀬)

町民の皆さまのご支持を得て4期目の当選をさせて頂きました。ありがとうございます。今後の4年間は町の将来を左右する、あらゆる課題の決断が次々と迫られます。賠償や除染、町民の健康など粛々と進めていく課題と、新たな町づくり、復興住宅、生活再建など町民の意見を伺いながら進める課題を整理し議論を重ねます。また決断のタイミングの見極

紺野 榮重
(北幾世橋)

めが大変重要です。そのような難題に果敢に取り組む事をお誓い申し上げます。

町を存続するために官民一体となって頑張る事が大事だ。時間が経てば経つほど戻る人は少なくなってしまう。時間に焦りを感じる。除染、インフラ整備は地域一体となつて進める事が大事だと思う。

浪江町の「まちづくり」の原点である「自助・共助・公助」の精神をもって町を復旧・復興したい。

佐々木恵寿
(権現堂)

全町避難という異常な状況の中、町を原風景に戻し、ふるさと浪江を美しくするため、あらゆる手段を尽くす覚悟です。

また、二元代表制の一翼として、自治体の意志決定や執行機関の監視・評価機能だけにとどまらず、議会の政策形成機能を十分に発揮していくために、自

佐々木勇治
(権現堂)

己研鑽に努め、議会の積極的な改革を図ってまいります。

私は、「常識にとらわれない強い意志 手に入れよう みんなの未来」を合言葉に、
①除染効果の判断・効率の向上をさせる。
②放射線量が震災以前に戻るようにする。
③避難生活に合った行政サポート(二重生活者等)をする。
震災以前の浪江町を取り戻すため、以上の三項目について全力で頑張ります。

佐藤 文子
(川添)

このたびの改選で4期目となり、ようやく町の色々な事が解り始めて、政策や提言に力を発揮できる様な立場になりました。困難な避難にもめげず、一日も早い町の復旧・復興、また、一人ひとりの心の復興を目指し、新たな気持ちで、真摯に課題に取り組んでいきたいと考えています。見かけたら気楽に声を掛けてください。

三瓶 宝次
(下津島)

福島第一原発事故以来、二年が経過いたしました。国および東京電力は、我々の要請・要求に何一つ応えていない状況でありますので、引き続きすべての責任を強く求めていきます。今後の町民の生活再建、賠償問題、新たな生活の場の確保、町民の健康管理体制の構築など、これらの課題の早期解決に向けて取り組み、今後の町の復興、そして住民の生活を守るため、全身全霊傾注し、その職責を果して行く決意をしております。

馬場 績
(赤宇木)

復興住宅の早期建設、賠償や、医療・介護など、被災者の生存権・財産権・幸福権を求めることは当然です。「事故収束宣言」の撤回と「原発ゼロ」は「オール福島」、「オール浪江」の声です。加害者である国、東電にハッキリものをいう議員として、これからも町民の負託にこたえる決意であります。

平本 佳司
(立野)

先般の町議選において選出させて頂きました「平本佳司」です。

一、国の思惑に屈しない「強い浪江町」の体制づくり。
一、馴れ合いや型にはまった議会ではなく、原点である「町民本位」の議会活動。
私は、残りの人生を東日本大震災および原発事故と闘う覚悟で立候補しました。
これからの4年間、どんな小さな事でも、全力で取り組みますので、ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

山崎 博文
(権現堂)

町復興計画では、「町民がどこに住むにしても一人ひとりの命と暮らしを守る」、「将来を担う子どもたちの苦しみを無くしていくこと」、「人それぞれの考えを尊重すること」、「多様な想いに沿った選択ができるようにしていくこと」と、四つを復興の基本としています。私もこれらの考え方を基に、

山本幸一郎
(末森)

皆さんの声に耳を傾け、復興に向けて取り組んでいきます。

今回の町議選で、2回目の当選が出来たことに感謝しております。前回とは違い、行政運営や議会活動も、十分に把握出来ているので、前回以上に、町のため、町民のために働けると思っております。

また、今後の4年間は、町の行く末を左右する大事な時期なので、全議員が協力し、これまでに以上に町民の声(賠償・除染・復興など)を、国・県・町に伝えていきたいと思えます。

吉田 数博
(荻宿)

原発事故による理不尽な避難という状況下、賠償問題や生活などの憤懣を、全て飲み込んで生きておられる町民の皆さまの思い、声を、しっかりと受けとめ、国県・町・東電に要望、要求を続け町民の代弁者として、対策を求めてまいります。町議選で示した約束を実現するため、覚悟をもって、取り組

若月 芳則
(立野)

んでまいります。

このたびの町議会議員選挙において、多くの皆さまのご支援を持って再度当選をさせて頂きました。

今回の議員の任期に当たる4年間は、まさに町民が、今後の人生を、生活をどう送ってゆくの、か、決断をせざるを得ない大事な時期となります。

議会を通じ、町民がその判断ができる環境整備をいかに進めてゆけるのか、それを第一に活動してまいりたいと考えます。

渡邊 泰彦
(権現堂)

「浪江町を取り戻す」このために4年間の議員活動のすべてを使います。町の地域の復興だけでなく、町の住民の復興にも力を入れます。商工業や農林水産業に従事していた町民が、震災前のように家業で生計を立てる。東電の賠償金に頼ることなく自立できるよう、支援制度や補助事業を利用するためのサポートをします。

リフレッシュママ教室（福島市）

同じ子育て中のママ友を作りませんか。
子どもと楽しく遊ぶ時間やママたちがゆっくり
お話しする時間をつくりました。

参加者は、相双地区から避難しているママたち
です。いっしょに楽しい時間を過ごしましょう。

▷日時

6月25日(火)

※6月21日までに電話でお申し込みください。

7月2日(火)

※6月28日までに電話でお申し込みください。

両日とも9時30分～12時

▷場所

県北保健福祉事務所（福島市御山町8-30）

▷内容

心のエクササイズ（レクリエーションなど）

申・問 県北保健福祉事務所

TEL 024-534-4155

高齢者肺炎球菌ワクチン 接種費用の助成

町では、高齢者の肺炎予防対策として、肺炎球
菌予防接種費用の一部助成を実施しています。ご
希望の方は、早めに接種しましょう。
※接種を希望される際は、医師の説明を十分に受
け、納得した上で接種してください。

▷対象者

昭和23年4月1日から昭和24年3月31日生ま
れの方で、浪江町に住所を有する方。

ただし、5年以内に接種している方は対象とな
りません。

※対象者の方には通知を差し上げています。

▷助成額

8,000円を上限とします。

※一度実費で支払い後、町へ請求していただき
ます。

▷接種期限

平成26年3月31日

問 健康保険課健康係 **TEL** 0243-62-0168

かしまに集まっ会

双葉郡から避難している方々のサロン（交
流会）を開催しています。

▷日時 6月18日(火) 10時～11時30分

▷場所 南相馬市鹿島保健センター

▷内容 おしゃべり、軽体操、健康相談(血
圧測定)

▷対象 南相馬市・相馬市・新地町などに
避難している方

問 南相馬市健康づくり課鹿島保健センター

TEL 0244-46-1451

保健 だより



麻しん・風しん 予防接種を受けましょう

麻しん・風しん予防接種対象者は次のとおりで
す。早めに接種しましょう。

▷対象者

区分	対象年齢	接種期間
I期	1歳から2歳未満	1歳の誕生日の前日から2歳 の誕生日の前々日まで
II期	幼稚園年長児に相 当する年齢	平成26年3月31日まで

▷接種時持っていくもの

予診票、保険証（住所・年齢が確認できるもの）、
母子健康手帳

※県外に避難している方は、避難先の市町村に
お問い合わせください。

※対象年齢を過ぎると個人負担となりますの
で、ご注意ください。

問 健康保険課健康係 **TEL** 0243-62-0168

避難者健康相談会

相双地域などから会津へ避難されている方々の
交流の場として「そうそう絆サロン」や「喜多方市
総合福祉センター」で避難者健康相談会を開催し
ています。

▷場所・日時 【そうそう絆サロン】

6月20日(木) 13時～15時

【喜多方市総合福祉センター】

7月8日(月) 13時～15時

▷内容

談話交流、血圧測定、身体と心の相談 など

問 会津保健福祉事務所健康増進課

TEL 0242-29-5508

いわき市に避難されている 町民の皆さまへ

町では、日本赤十字看護大学と協定を締結し、
町民の皆さまに対する健康支援を実施しています。

日本赤十字看護大学や赤十字病院の看護師等
が、戸別訪問しますので、よろしくお願いします。

なお、不明な点はお問い合わせください。

問 健康保険課健康係 **TEL** 0243-62-0168

投票率 53.81%

	男	女	計
当日投票数	1,759	1,682	3,441
期日前投票数	1,928	2,161	4,089
不在者投票数	536	719	1,255
投票総数	4,223	4,562	8,785
当日有権者数	7,946	8,380	16,326
投票率	53.15%	54.44%	53.81%

投票総数内訳

投票総数	有効投票数	無効投票数	持ち帰り票数
8,785	8,657 (98.54%)	128 (1.46%)	0

4月21日に行われた浪江町議会議員一般選挙の
投票率は、53.81%でした。
東日本大震災と原発事故で有権者が全国に避難
する中、行われた初の町議会議員選挙の投票率は、前
回を24.36ポイント下回り、過去最低となりま
した。

町議会議員一般選挙の 投票率をお知らせします

なみえの

“しゃべり場”



～集まれ！浪江のなかま～

同じ浪江町民同士、みんなで集い、語り合う場、共感し合う場、
理解し合う場、励まし合う場、笑い合う場、さまざまな場とし
て“しゃべり場”を開催しています。「これから一緒に何かしま
しょうよ!」「今こんなことに困ってない?」など、皆さんの“今”
を共有しましょう。

事前申し込みが必要となる場合がありますのでご注意ください。
皆さまのご参加をお待ちしています。

開催スケジュール

開催日時	開催地	会場	内容
6月21日(金) 13時30分～ 15時30分	いわきエリア (いわき市)	いわき市 総合保健福祉 センター 1階 多目的ホール (いわき市内 郷高坂四方 木田191)	13時30分……開会 13時40分～14時10分 浪江町出身の歌手「水原ゆきさんミニコンサート」 14時10分～15時30分 交流会(フリータイム) 日本アロマ環境協会のご支援で、アロマハンドマッサージ等 を行います。 ※事前申し込みは不要です。
7月8日(月) 10時30分～ 15時30分	県中エリア (郡山市)	ビックパレット ふくしま 3階 中会議室 (郡山市南二 丁目52)	10時30分……受付開始 11時……開会 11時10分～11時45分…浪江町状況報告DVD紹介 11時45分～…昼食休憩(焼きそば振る舞い) 13時～14時30分 大堀相馬焼絵付け体験(希望者のみ)・交流会(フリータイム) ※絵付け体験料 1,680円(材料代・送料込) 希望される方は、TEL 080-2800-0653まで。 ※今回の交流会は「NPO新町なみえ」との共催です。

※当日の内容は、会場ごとに異なります。

※各会場とも駐車場に限りがありますので、公共交通機関の利用や乗り合せにご協力ください。

※今後も、県内外各地で開催を予定しています。県内は、県北、県中、県南、いわき、相馬、会津のエリアに分けて、開催し
ていますが、各会場どなたでも参加できます。

主催 浪江町

問 生活支援課避難生活支援係 **TEL** 0243-62-0305

食品の放射能簡易分析結果

町では、食品中の放射性物質を測る機器を配備し、さまざまな食品等の安全安心のため放射性物質測定を実施しています。

■4月の分析結果

区 分	検体数	検出された検体数	品 名
野 菜	9	0	しいたけ・ たらの芽・ 山ウド・ こしあぶら 100ベクレル/kg以上
山菜、きのこ類	17	7	
米(新米)	1	0	
魚	4	1	
その他	1	0	
合 計	32	8	

食品衛生法における基準値（セシウム134、セシウム137の合算値）
●一般食品……100ベクレル/Kg ●飲用水……10ベクレル/Kg
●牛乳……50ベクレル/Kg ●乳幼児食品…50ベクレル/Kg
※浪江町内の食品は摂取できないため測定しておりません。

食品の簡易測定は、随時受付しています。ご希望の方は、お問い合わせください。

申・問 上竹倉庫事務所 TEL0243-23-4774

避難区域内の水の汚染状況検査結果

町で実施した避難区域内の水等の汚染状況検査結果をお知らせします。

区 分	検査月日	採 取 地	検査結果
井 戸 水	4月11日	権 現 堂	不検出
		川 添	不検出
		室 原	不検出
河川流水	4月11日	やな場付近	不検出
底 質	5月9日	やな場付近	17,600ベクレル/kg
海 水	4月11日	請 戸 漁 港	不検出

問 生活支援課生活安全係 TEL0243-62-0151

避難区域内のゲルマニウム半導体検査結果

町が福島県に依頼し実施した避難区域内の取水場のゲルマニウム半導体検査結果をお知らせします。

区 分	採取月日	採 取 地	検査結果
原 水	4月8日	小野田取水場	不検出
		苅野取水場	不検出
		谷津田取水場	不検出
		大堀取水場	不検出

問 復旧事業課上下水道係 TEL0240-34-0234

浪江町集団申立てに関する参加申し込みの締め切り

町で行う集団申立てについて、次の期日で参加申込書および委任状提出の締め切りとさせていただきますので、今回の申立てに参加を希望される方は、各締切日必着でお申し込みください。

▷締切日

- 二次締切日 6月10日(月)
- 最終締切日 6月28日(金)

問 産業・賠償対策課賠償支援係
TEL0243-62-0123(内241、242)

町内への立入りについて

町では、4月1日施行により、区域の見直しが実施され「避難指示解除準備区域」および「居住制限区域」についての立入りが緩和され、町で発行許可している「浪江町通行証」および「身分証明書」を検問所で提示していただければ立入りすることができます。

町内の立入り時間については、「午前9時から午後4時まで」です。この時間以外では、検問所等を通過することができませんので、ご注意くださいようお願いします。

問 生活支援課生活安全係 TEL0243-62-0151

「みんなのれんらく帳」の記載事項の誤り

3月に、町から町民の皆さまにお渡しさせていただいた「みんなのれんらく帳」の掲載につきまして、下記の部分に誤りがありました。
お詫びして訂正いたします。(連絡順・敬称略)

●行政区誤り

泉澤 青春 (訂正前) 川添北 (訂正後) 川添南
田中 清人 (訂正前) 川添北 (訂正後) 川添南
田中 政子 (訂正前) 川添北 (訂正後) 川添南

●電話番号誤り

宮口 勝美 (訂正前) 090-2933-9780
(訂正後) 090-2973-9780
根本 忠己 (訂正前) 090-5535-7775
(訂正後) 090-5355-7775
緑 百合子 (訂正前) 090-6453-7822
(訂正後) 090-2998-3619

問 生活支援課避難生活支援係
TEL0243-62-0305

みんなで ともに 乗り越えよう

復旧事業課移転のお知らせ

6月1日から復旧事業課は町内インフラ復旧を本格的に進めるため、本庁舎へ移転しました。
町民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

■復興再生事務所

復旧事業課（本庁舎）

建設土木係 TEL0240-34-0244

町道管理、防犯灯、漁港修築、河川・堤防、海岸保全、土木設計、土木災害、高速自動車道整備促進、土地改良、農林災害、農林道整備など

上下水道係 TEL0240-34-0234

合併処理浄化槽、下水道整備計画、農業集落排水事業、災害復旧に係る上下水道復旧計画など

問 総務課行政係
TEL0243-62-0128(直通)
TEL0243-62-0123(代表)



なみえの

あの店この店

ふるさとを離れ、ふるさとを想いながら避難先であらたにスタートした企業・店舗の皆さんを応援してください。

掲載ご希望の企業・店舗の方は、ご連絡ください

問 復興推進課情報統計係 TEL0243-62-4731

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、避難指示区域の見直し、インフラの復旧、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。

その中で、町がどのような取り組みをしているのかをお知らせします。

応急仮設診療所開所式

5月9日、役場本庁舎で開所式が行われ、同日から医師および看護師が駐在し、町内立入りの際のケガや急な病気の応急的な処置を行っています。



▷診察日時 毎週木曜日
午前9時30分～午後3時まで

▷場 所 役場本庁舎内「健康相談室」
(1階北側玄関より入って右奥)

TEL0240-34-2114

アクセスホームさくら

渡邊 幸江
〒964-0953 福島県二本松市沼ヶ作236-1
TEL・FAX 0243-24-1664

■ 本格除染にあたっての 除染同意に係る 住民の皆さまへのご連絡について

環境省が行う本格除染にあたっての同意取得業務について、委託する事業者として「横浜エンジニアリング㈱」が対応させていただくことに決まりましたのでお知らせいたします。

今後、次のとおり同意取得を順次進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

なお、今回対象行政区とならなかった帰還困難区域以外の行政区につきましては、準備が整い次第、順次書類の発送を進めてまいります。

また、仮置き場が確保されていない状況であります。同意取得の説明と仮置き場の確保を同時並行で進めてまいりますので、本事業へのご理解ご協力をお願いいたします。

▷ 請負業者

横浜エンジニアリング㈱

▷ 作業時期

5月下旬から7月末

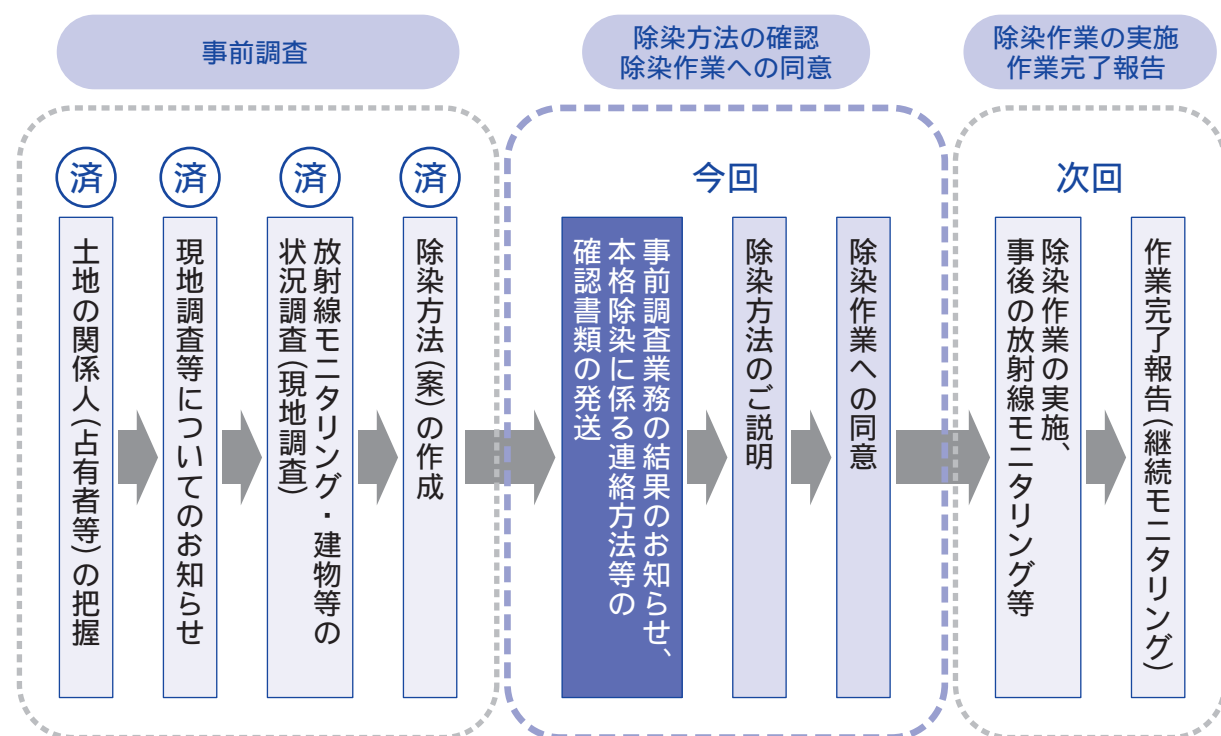
▷ 業務内容

事前調査業務の結果のお知らせ、同意取得に関する現地説明方法などの意向調査、現地説明の日程調整、除染作業への同意の取得等

▷ 対象行政区

権現堂1区から8区、樋渡・牛渡、高瀬、佐屋前、幾世橋、北幾世橋北、立野下、酒田、西台、藤橋

除染工程の一連の流れ



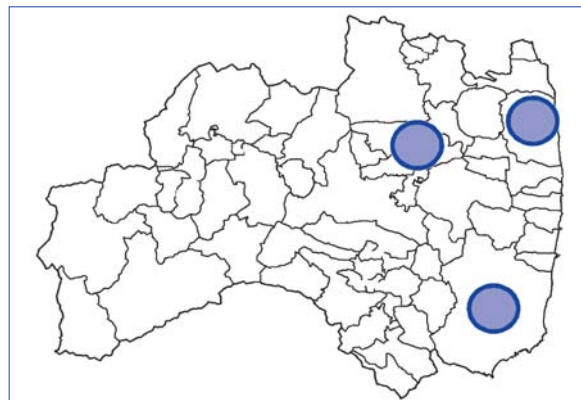
■ 町外コミュニティの整備に向けて ■

町では、昨年度に策定した復興計画に基づき、町外コミュニティの整備に向けて、国、県、関係市町村との調整を行っています。

町外コミュニティとは

復興公営住宅（県営住宅）を中心として、生活に必要なサービスを整え、町外で安心して暮らせる環境を確保するものです。

町外コミュニティ設置箇所



町外コミュニティの整備方針

- 南相馬市、いわき市、二本松市の3市への整備を進めています。
- 受入自治体の都市計画や復興計画などを尊重して整備を進めていきます。
- 利便性の高い市街地に近接した場所で、同一市内の極力分散しない配置での整備を目指します。
- 医療・福祉などの生活関連サービスについては、受入自治体の既存施設を利用させていただくことを基本に考えていますが、利用に支障が出ることも考慮して、既存施設の拡充・新規施設の整備も視野に入れて環境整備を進めていきます。
- 平成26年度当初から順次入居を目指し段階的に整備を進めていきます。
- 鉄筋コンクリート造（3～5階建）の集合住宅を基本とした整備を予定しています。
※木造戸建て住宅は、より広大な用地の確保が必要となるため、整備が困難な状況です。

復興公営住宅の整備状況（福島県からの情報）

① 第1期分（平成24年度予算分）

（県営の復興公営住宅のため、浪江町のみ戸数ではありません。）
戸数：合計 500戸

【内訳】いわき市………250戸

（小名浜地区200戸、常磐地区50戸）

郡山市………160戸

（喜久田町地区50戸、富田町地区40戸、安積町地区30戸、日和田町地区20戸、富久山町地区20戸）

会津若松市………90戸

（門田町地区70戸、古川町地区20戸）

入居：早いところで、平成26年度当初から入居開始予定

※募集時期未定（分かり次第お知らせします。）

② 第2期分（平成25年度予算分）

戸数：合計 1,000戸

（詳細は分かり次第お知らせします。）

③ 復興公営住宅の対象者

平成23年3月11日において、避難指示区域内に居住していた方

（優先入居条件など分かり次第お知らせします。）

④ 復興公営住宅の家賃

公営住宅なので家賃が発生することになりますが、借上住宅制度との均衡を図るため、福島県と調整していきます。

⑤ 復興公営住宅の整備情報

- 構造：
鉄筋コンクリート造（3～5階建・エレベーター付）の集合住宅
- 間取り：
間取りは2LDK（60㎡）3LDK（75㎡）を基本として整備予定
※仮設住宅と比較すると、約2倍の室面積となります。
（参考：仮設住宅 2DK 30㎡、3K 40㎡）

そ の 他

- 復興公営住宅の整備に関する情報について、広報なみえやホームページでお知らせします。
- 復興公営住宅の需要を把握するために、住民意向調査（アンケート）を7月頃に再度実施しますので、ご協力をお願いします。

「鯉のぼり」に復興の願いを



5月14日 浪江小学校



5月5日 役場本庁舎

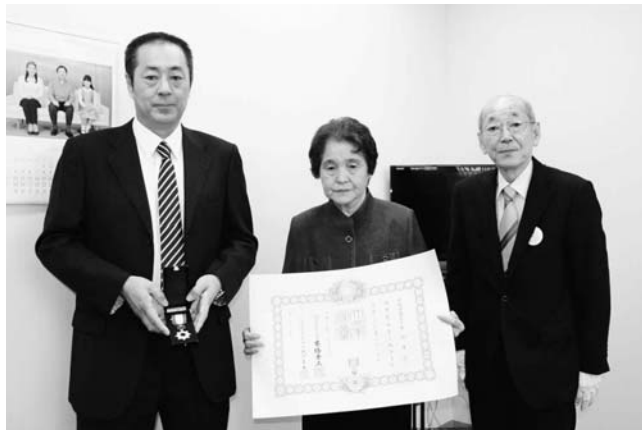
5月5日、役場本庁舎および14日、浪江小学校（二本松市）で「ふくしま鯉のぼりプロジェクト」の皆さんによって、全国から寄せられた鯉のぼりが大空を泳ぎました。

このプロジェクトは、広坂光広浪江青年会議所理事長、福島大学災害復興研究所等が呼びかけ人となり、全国から鯉のぼりやメッセージを募り、本県の復興への願いを込めて実施したものです。

おめでとうございます

4月30日、(故)木村重信さんへ叙勲伝達式が行われ、ご遺族が出席されました。

木村さんは、昭和60年から5期20年にわたり町議会議員を務めるなど、多方面において町のためにご尽力され、その功績により「旭日単光章」を受章されました。



秋篠宮さまご夫妻、福島ご訪問

5月9日、秋篠宮ご夫妻は「陶芸の杜おおぼり二本松工房」を訪問されました。

半谷組合長の案内により二本松工房をご視察され、窯から出したばかりの器の青ひびの音に耳を澄まされていた様子でした。(福島へのご訪問は、震災後2度目)



ありがとうございました



相馬警察署様から、相双魂見守り隊へ防犯支援物品が贈られました。(相双魂見守り隊には、相馬市大野台第8仮設住宅の町民の方も参画しています。)



イオン心をつなぐプロジェクトの佐藤忠美様から、町へ義援金が贈られました。義援金は、子どもたちのための事業等に大切に活用させていただきます。



長野県の伊那商工会議所青年部様から、町へ義援金が贈られました(今回で2回目)。

全力で金より光れ 浪江っ子

(スローガン：4年 久米田滉斗くん作)

5月18日、浪江小学校（二本松市）で運動会が開催されました。

晴天の下、全校児童17名が各種競技に元気いっぱい流した汗は、金メダルより光っていました。

保護者や仮設住宅の方も競技に参加し、笑顔あふれる運動会となりました。



がんばれ!

なみえ

まちの話題

皆さまの身の回りにある楽しい話題、変わった話題などの情報を募集しています。

TEL 0243-62-4731

心に花を! 咲かせる笑顔! 平和な未来!

5月3日から2泊3日の日程で、浪江町のYOSAKOIチーム“ワンダーなみえ”が2013広島フラワーフェスティバルに招待されました。

全国へ避難している“ワンダーなみえ”の子どもたち15名が参加し、3,000人の観客の温かい声援の中で精一杯演舞し、元気を発信しました。

また、サプライズで広島市立竹屋小学校のチームから名入りの赤いタスキをいただき、お礼になみえ焼そばをプレゼントし、友好と絆を深めました。

参加者は「浪江町は広島市を訪問し、友好関係を結んでいるので、今後も友好が続くよう“ワンダーなみえ”が絆をつなぎ、頑張りたい。」と、今後の活動に向けて意欲を強くしていました。

感謝の気持ちをタオルに込めて

4月24日、相馬市大野台第8仮設住宅にお住いの鵜野トシ子様から、市立大野小学校の児童の皆さんへ手作りのかわいい手拭き用タオルが贈られました。



学校紹介と故郷に想いを寄せる行事あれこれ

学校だより

vol.9 津島中学校

校章・校舎

校章は、大正13年に制定された津島村紋章「五山ちがい鷹の羽」から五ツ山字形を中心に配し、さらに五山（白馬石山、高太石山、葛船山、中ノ森山、日山）を図案化して制定されました。校章には『飛躍・発展』の願いが込められています。

校訓

拓 魂

「拓魂」とは、未来を切り拓くという意味です。

現在の津島中学校と教室

明るくきれいな校舎が静かに学校再開を待っています。先生方が校舎内の整理整頓を行いました。

津島の集い（平成24年7月）

今年も夏休みの最初の土・日に、津島小・中PTA合同で開催する予定です。生徒の皆さんも久しぶりの再会を心待ちにしていることでしょう。たくさんのご参加をお待ちしています。

故郷に想いを寄せる同窓会（平成24年10月）

昨年10月に津島小・中で、福島大学主催による故郷に想いを寄せる同窓会事業が行われ、津島中からは3年生を中心に9名が参加しました。

浪江町中学卒業の集い（平成25年3月）

浪江町教育委員会では、浪江町の卒業生の門出を祝う行事として「卒業の集い」を開催しました。町内3校の卒業生がそれぞれの避難先から集まり、ともに卒業の喜びを分かち合いました。

今年度27名の生徒たちは今!?

今年度は全体の92.6%が県内在住者となっています。生徒たちはそれぞれの避難先の学校に入学し、現在に至っています。生徒の皆さんが元気に活躍できるよう、学校関係者全員で応援していきます。

生徒の避難先

県内25名（福島市10名、二本松市9名、本宮市2名、郡山市1名、田村市1名、須賀川市1名、相馬市1名）

県外2名（東京都1名、山梨県1名）

問 浪江町教育委員会事務局内 津島中学校 TEL 0243-62-0301

6月の休館日

3日(月) 10日(月) 16日(日) 17日(月) 24日(月)

浪江in福島ライブラリー きぼう
(仮設浪江図書館)
TEL・FAX 024-573-4295
〒960-0241 福島市笹谷字片目清水30-8

◆貸出冊数 1人5冊まで
◆利用時間 9時～17時
※お気軽にご利用ください。

みんなの図書館

読んでみませんか

福島県立図書館から7月まで379冊の本（内絵本81冊）を借り、より多くの本を提供できるようになりました。皆さまのご利用お待ちしております。

「プロメテウスの罠 1～4」
朝日新聞特別報道部/著 学研 2012
福島原発事故、放射能汚染は何故起こったのか…そして我々はどこへ行けばいいの…現在も連載中の真実のレポートです。

「図書館戦争 1～4」
有川 浩/著 角川書店 2011
図書館と特殊部隊がどうつながるのか、言葉と表現の危機。心を込めた大切な言葉がねじ曲げられてゆく…図書館の見方が変わるかもしれないお薦めの1冊です。

「100歳までボケない101の方法」
白澤卓二/著 文藝春秋 2011
日野原明先生が推薦する著書です。ボケずに長生きする秘訣とは？この本を読んで生活習慣を変えてみてはいかがでしょうか。

有料広告募集

問 復興推進課情報統計係
TEL 0243-62-4731

広報なみえでは、5月号から有料広告の掲載を再開しています。
全国に避難している町民の皆さんへ発送している広報紙は、皆さんの目に触れる機会が多く、高い宣伝効果が期待できると思われます。

■募集期間

枠に空きがある場合は、随時受け付けています。

■掲載場所

各ページ（表紙除く）の下段（1色刷り）
最終ページ（4色刷り）

■申し込み方法

申請書に必要書類を添えてお申し込みください。申請書が必要な方は、郵送いたしますのでご連絡ください。また、町ホームページからもダウンロードできます。

■広告の大きさ

1 枠 縦 47mm × 横 88mm
広報紙 1 号につき 2 枠まで（最終ページは 4 枠まで）掲載できます。

区 分	広告掲載料 (広報紙1号あたり)	
	1色刷り	4色刷り
- 平成23年3月11日において、町内に事務所または営業所を置いて、東日本大震災後事業を再開したもの。 - 浪江町に住所を有し（東日本大震災以降住所を有さなくなったものを含む）、東日本大震災後に新たに事業を開始したものおよび復興に寄与する事業を営むもの。 - 上記以外のもの	5,000円	10,000円
上記以外のもの	10,000円	20,000円

※ 1 枠の実寸サイズです。

仮設津島診療所のお医者さん

問 仮設津島診療所 Tel 0243-24-1431

■診療時間 午前：9時～12時
午後：14時～16時

6月3日(月) 関根・佐川(午後)・手塚
4日(火) 関根・佐藤・手塚
5日(水) 関根・西・手塚
6日(木) 今村(午後)・手塚
7日(金) 関根・玉井・手塚
10日(月) 関根・佐川(午後)・手塚
11日(火) 関根・佐藤・手塚
12日(水) 関根・西・手塚
13日(木) 今村(午後)・手塚
14日(金) 関根・玉井・手塚
17日(月) 関根・佐川(午後)・手塚
18日(火) 関根・佐藤・手塚
19日(水) 関根・西・手塚
20日(木) 今村(午後)・手塚
21日(金) 関根・玉井・手塚
24日(月) 関根・佐川(午後)・手塚
25日(火) 関根・佐藤・手塚
26日(水) 関根・西・手塚
27日(木) 今村(午後)・手塚
28日(金) 関根・玉井・手塚
(都合により変更あり)

浪江町長杯
家庭婦人バレーボ
ル大会開催

バレーボールで元氣を取り戻し、交流を深めましょう。

▽日時

7月13日(土)

●受付 8時30分～

●開会式 9時～

●競技開始 9時15分～

▽場所

本宮市白沢体育館

（本宮市白岩字堤崎318-1）

▽参加資格

浪江町バレーボール協会所属チームおよび浪江町に在住していた愛好者10名以上でチームを

編成していること。

▽参加チーム数

8チーム（先着）

▽その他

●競技ルールに違反したときは失格とします。
●当日の万一の事故については、参加者対応とさせていただきます。

●傷害保険については、公民館補償保険に加入しておりますが、必要に応じて各チームで

ご加入願います。

▽申込方法

電話等でお申し込みください。
▽締切日 6月25日(火)

※8チームになり次第締め切ります。

▽主催

浪江町

浪江町教育委員会

浪江町中央公民館

▽主管

浪江町バレーボール協会

▽後援

福島民報社

福島民友新聞社

申・問 浪江町教育委員会事務局

生涯学習係

〒964-0098

二本松市北トロミ573

浪江町役場 二本松事務所

Tel 0243-6210304

Fax 0243-2214223

ふくしま大卒等合同
就職面接会開催

福島労働局では、正社員で雇用する計画のある県内企業（70社参加予定）との面接会を開催します。

お気軽にお越しください。

▽日時

7月13日(土) 13時～16時

▽会場

ビッグバレットふくしまCホール

（郡山市南2丁目52番地）

▽対象者

●平成26年3月新規大学等を卒

業予定の方

●平成23年3月以降に卒業して現在就職活動をしている方

▽その他

●事前申し込み不要

●参加事業所は開催1週間前に、福島労働局ホームページ上で公開します。

●事業所のブースにおける人事担当者との個別面談、ハローワーク等各機関による職業相談・情報提供等を行います。

▽主催

厚生労働省福島労働局、ハローワーク、福島県

問 福島労働局職業安定課

Tel 024-52915396

日本政策金融公庫
からのお知らせ

日本公庫は、中小企業・小規模事業者の皆さまの経営改善を一層応援するとともに、資金繰りの応援をより万全なものとしていくために、全支店に「経営改善・資金繰り相談窓口」を設置しました。

金融円滑化法の期限到来後も、政策金融機関として、中小企業・小規模事業者の皆さまからの融資相談に、迅速かつきめ細やかな対応してまいります。

平成26年度採用
浪江町職員採用試験

▷職種および採用予定人員
大学卒程度（一般事務） 8名程度
▷採用予定時期 平成26年4月1日以降
▷受験資格

職 種	生年月日、資格・免許等
大学卒程度（一般事務）	昭和53年4月2日以降に生まれた方（学歴は問いません。）

▷第1次試験 7月28日(日)
▷受付期限 6月28日(金)
※郵送の場合は、6月26日(水)までの消印有効
*受験手続き等詳しくはお問い合わせください。

問 総務課 Tel 0243-62-0123(代表)
Tel 0243-62-0128(直通)

平成25年度
税務職員採用試験
(高校卒業程度)

仙台国税局では、平成26年4月採用予定の税務職員を募集します。

▷第1次試験 9月8日(日)
*受験手続き等詳しくはお問い合わせください。

問 人事院東北事務局 Tel 022-221-2022
問 仙台国税局人事第二課
Tel 022-263-1111(内3236)

よく
願います

5月1日付で県から1名、応援職員として来ていただいております。
町民の皆さま、よろしくお願いします。



復旧事業課
佐藤 和憲
(福島県)

総務省からの
お知らせ

6月1日～10日は「電波利用環境保護周知啓発強化期間」です。

電波は、ルールを守って正しく使しましょう。

電波の混信・妨害についてはお問い合わせください。

問 総務省東北総合通信局

Tel 022-22210641

*詳しくはお近くの支店または事業資金相談ダイヤルにお問い合わせください。

0120-1541505

ドライバー大募集！！

車が好きな方・運転が好きな方
大型トラックドライバーになりませんか？

正社員/給与：会社規程により優遇/各種社会保険完備

※随時面接受付中 まずはお電話ください。

あなたの力が必要です！

安全輸送で社会に貢献

浪江貨物自動車株式会社

福島県福島市成川字上谷地 30

Tel 024-545-7711

http://www.namiekmt.com/

町内モニタリングポスト測定結果

原子力規制委員会で町内 40 箇所に設置したモニタリングポストの測定結果をお知らせします。なお、測定結果情報はホームページで閲覧できます。

*原子力規制委員会放射線モニタリング情報

Url http://radioactivity.nsr.go.jp/

測 定 地 点	5/1	5/15
津島小学校	4.0	4.1
津島中学校	1.8	1.9
浪江高等学校津島校	8.8	8.9
浪江（中央公園付近）	0.7	0.7
幾世橋（幾世橋小学校付近）	0.2	0.2
浪江ひまわり荘	2.6	2.6
手七郎集会所	8.5	8.5
大柿簡易郵便局	11.6	11.4
家老集会所	7.3	7.3
赤宇木集会所	8.6	8.5
大堀小学校	3.2	3.2
苅野小学校	3.9	3.9
浪江町役場	0.1	0.1
小丸多目的集会所	22.5	22.3

測 定 地 点	5/1	5/15
津島活性化センター	0.9	0.9
昼曽根屯所	12.4	12.3
新町ふれあい広場	0.5	0.5
川添葉山会館	3.1	3.0
樋渡牛渡集会所	3.1	3.0
高瀬多目的集会所	0.6	0.6
幾世橋集会所	0.2	0.2
浪江町公民館幾世橋分館	0.1	0.1
北棚塩総合集会所	0.1	0.1
棚塩集会所	0.1	0.1
大字請戸集会所	0.07	0.07
中上ノ原町営住宅	2.9	2.8
井手多目的研修センター	6.2	6.2
田尻集会所	1.4	1.4

(単位: μ Sv/h)		
測 定 地 点	5/1	5/15
小野田集会所	2.1	2.1
酒井集会所	2.9	2.9
室原公民館	4.0	4.0
立野中多目的集会所	4.5	4.4
苅宿公民館	2.4	2.4
加倉集会所	2.4	2.3
藤橋消防屯所	0.6	0.6
羽附集会所	0.7	0.7
大字津島集会所	1.9	1.9
南下コミュニティセンター	5.6	5.5
葛久保集会所	9.3	9.2
陶芸の杜おおぼり	12.6	12.3

交通事故相談

県では、交通事故による損害賠償請求や示談の仕方などについて相談をお受けします。相談は無料で秘密は厳守します。

▽時間

月曜～金曜日
※祝日・年末年始を除く
9時～12時、13時～16時

▽場所

福島県庁県民広聴室県政相談コーナー
(福島市杉妻町2番16号)

なお、巡回相談も実施していますが、事前予約が必要です。日時・日程等詳しくはお問い合わせください。

問 福島県庁県民広聴室県政相談コーナー
TEL 024-521-4281

独立行政法人

自動車事故対策機構

自動車事故の防止と被害者支援の業務を行っています。

▽「育成資金等の貸付」制度

自動車事故により保護者の方が亡くなれたり、重い後遺障がいを残すこととなったご家庭のお子様の健全な育成が図られるよう、中学校卒業までの成長

期における経済的な手助けを行うため無利子の貸付けを行っています。

▽「重度後遺障害者への介護料支給」制度

当機構の介護料は、自動車事故を原因として、「脳」、「脊髄」または「胸腹部臓器」に重度の後遺障害を持ったため、日常生活動作について「常時」または「随時」の介護が必要となった方に支給しています。

問 独立行政法人自動車事故対策機構
●本部
TEL 03-5276-4451

●福島支所
TEL 024-522-6626

事業主の皆さんへ

労働保険の年度更新等のお知らせ

平成25年度の労働保険の年度更新の申告期限は、7月10日です。

期限までに、最寄りの銀行、郵便局、労働基準監督署、福島労働局において手続きをしてください。

ただし、次の地域の事業場については、東日本大震災により労働保険料の申告・納付期限が

避難状況 (4月30日現在)

都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	70	滋賀県	1
青森県	62	京都府	34
岩手県	33	大阪府	60
宮城県	598	兵庫県	20
秋田県	78	奈良県	6
山形県	233	和歌山県	0
福島県	14,614	鳥取県	1
茨城県	880	島根県	9
栃木県	432	岡山県	19
群馬県	211	広島県	15
埼玉県	747	山口県	1
千葉県	594	徳島県	1
東京都	953	香川県	2
神奈川県	506	愛媛県	13
新潟県	534	高知県	7
富山県	19	福岡県	21
石川県	41	佐賀県	5
福井県	12	長崎県	11
山梨県	63	熊本県	2
長野県	58	大分県	6
岐阜県	20	宮崎県	7
静岡県	75	鹿児島県	8
愛知県	35	沖縄県	33
三重県	8	外国	12

延長しています。

田村市・南相馬市・川俣町・

広野町・楡葉町・富岡町・川内村・大熊町・双葉町・浪江町・葛尾村・飯館村

問 福島労働局総務部労働保険徴収室
TEL 024-536-4607

「法テラス二本松」

無料法律相談

法テラス二本松では、弁護士や司法書士が待機し、原発事故の損害賠償請求や、身近な法的トラブル(離婚、借金、相続、交通事故、労働問題等)について、法律相談を無料で受付けて

県政相談

県では、県政に関する相談や要望、または県民生活に関する相談をお受けします。相談は無料で秘密は厳守します。

▽場所

福島県庁県政相談コーナーおよび県の各合同庁舎内県政相談コーナー

▽日時

月曜～金曜日
9時～12時、13時～16時
※土日祝日・年末年始を除く

▽県政相談専用電話等

●「県庁」県政相談コーナー

TEL 0120-899-721
TEL 024-521-7017
E kenseisoudan@pref.fukushima.lg.jp

●「県合同庁舎内」県政相談コーナー(郡山)

TEL 0120-899-722

(白河)

TEL 0120-899-723

(会津)

TEL 0120-899-724

(南会津)

TEL 0120-899-725

(相双)

TEL 0120-899-726

(いわき)

TEL 0120-899-727

平成26年浪江町成人式

▽日時

平成26年1月12日(日)
11時開式(10時受付開始)
*お間違いないように
「成人の日」は1月13日(月)で

すが、成人式は1月12日(日)に開催いたします。

▽場所

二本松市役所安達支所内
安達文化ホール

▽対象者

平成5年4月2日～平成6年4月1日生まれの方

▽その他

●対象の方には、9月中旬までに案内状を送付します。

●案内状が届かない場合は、10月18日(金)までにご連絡ください。

●遠方からお越しの方用に宿泊施設、美容店、写真店の一覧を通知文と併せて送る予定です。また、一覧は町ホームページでもご覧いただけます。

問 浪江町教育委員会事務局生涯学習係
TEL 0243-62-0304

わたしたちのまち

(平成25年4月末現在)

人口	19,661人	転入	33人
男	9,614人	転出	56人
女	10,047人	出生	14人
世帯数	7,318戸	死亡	16人

※転入は、震災後転出した方の再転入のみ。
※人口は、外国人を含みます。

※この欄には、連絡がとれた方のみ掲載しています。
住民票を町外に異動された方で、掲載希望の方はご連絡ください。

TEL 0243-62-4731

お誕生

出生届は14日以内に(4月)

こどもの名(性別)	親の名	住所
横山 凜 女	裕樹・実祐希	大堀
田村 彪 雅 男	善孝・梓	北幾世橋
山田 莉里太 男	修平・ひとみ	川添
山田 航 聖 男	芳輝・美佳	権現堂
菅野 桜 誠 男	直哉・碧	権現堂
八幡 春 舞 男	邦夫・奈巳	権現堂
根本 廉 男	敬志・怜美	川添
森 楓 華 女	春樹・玲菜	立野
石井 芽衣紗 女	誠・絹恵	樋渡
今野 暁 音 女	聖治・恵美子	赤宇木

お悔み

死亡届は7日以内に(4月)

死亡者名	年齢	住所
高野 光 吉	85歳	権現堂
紺野 礼 華	19歳	立野
末永 信 一	92歳	川添
亀田 義 勝	96歳	牛渡
池田 幸 雄	72歳	北幾世橋
佐々木 幹 夫	62歳	藤橋
安部 洋	86歳	立野
宇佐美 子 三	90歳	西台
菊地 清 一	83歳	西田
石田 健 一	57歳	小野田

「原田直之民謡リサイタル」
避難者支援交流事業

入場無料ですので多くの方の入場をお待ちしています。

▷日時 6月15日(土) 13時開場・14時開演

▷場所 福島県文化センター 大ホール
(福島市春日町5-54)

▷共催 福島市なみえ会(自治会連合)、福島市相双自治会連合会

*詳しくはお問い合わせください。

問 (責任者) 亀田 和行 **TEL** 090-1933-4738

お詫びと訂正

広報なみえ5月号に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
6頁「浪江町消防団辞令交付式」および14頁「新規採用職員」
(誤) 帰庁準備室 (正) 帰町準備室

ミニカーでレース！！
スロットカークラブ福島

クラブ代表 泉沢 茂雄

福島県福島市飯坂町平野宇原東24-1大石貸ビル2F
国道13号線沿い 東北自動車道 飯坂インターから3分
福島交通飯坂線 平野駅または医王寺駅から徒歩7分

090-7525-0376(携帯)
crj700ng@ezweb.ne.jp(携帯メール)
sendaiairport@yahoo.co.jp(PCメール)

開店時間など詳しくは「スロットカークラブ福島のブログ」で検索！

父(有)末永石材工業

代表取締役 末永 一郎

二本松市七ツ段128 杉田農村仮設B-2-3
(浪江町赤宇木字手七郎127-4)

TEL 080-1843-9129



埼玉県

渡部 賢次さん・しげ子さん(立野)

取材者：高崎経済大学櫻井研究室 櫻井

取材日：5月11日

浪江町が3つに区域再編されたことが残念
—孫たちが帰ることのできる
実家を早く再建したい—

渡部さんご家族は、震災直後、おばあさんやお孫さんたちと8人で親族を頼ってさいたま市に避難し、現在まで生活しています。賢次さんは、東京都内を中心に内装工の仕事をはじめ、もう2年ほどが経とうとしています。お話しは、賢次さんと妻のしげ子さんからお聞きしました。

震災直後の3月14日に埼玉に暮らす弟を頼って、家族8人で避難して以来、このさいたま市ですと暮らしています。浪江では、孫3人を含む家族8人で一緒に暮らしていたのですが、今はそれはかなわず、バラバラの住まいで暮らしています。おばあさんは、浪江では畑で野菜を作っていました。住宅街のなかでは草取りもできず、家の中にもったままです。妻は、近隣のスーパーで買う野菜などの食品の鮮度や質が悪いことをいつも気にしています。浪江の暮らしは本当に豊かなものだったことを町の外に出てみて初め

て実感します。私は、内装工のアルバイトをしています。毎朝、東京都内の現場に通動していますが、いつも混雑した慣れない道のりでの長時間の通勤には本当に苦労しました。とにかく生活のすべてが変わってしまったわけです。私は今回、避難指示区域再編を浪江町が受け入れたことを本当に残念に思っています。浪江町の暮らしは、室原川や高瀬川などの限られた水源に支えられています。線量の高い方からの川の流れば、町全体に影響を与えることにもなります。もし影響が無いと言われても、町民と



▲左から 賢次さん、テウさん、しげ子さん

してはやはり不安です。私が住んでいた上立野行政区では、この問題を何度か話し合い、町への提言も行いましたが受け入れられませんでした。政府の対応を含め、私たち被災者の声はとうすれば届くのか、戸惑いだけが残ってしまいます。そんな線量の高い、不安な土地にもしも私たちが戻ったとしても、子どもたちや孫たちは来ることはできないと思います。孫たちが帰ってこないような実家なんて意味がない。家族8人で楽しく暮らしていた浪江での日々のことを思い出すと、なぜこのようなことを考えなければならぬのかと涙が出てしまいます。いつまでも迷っているだけなく、これから先のことを決断しなければならぬとは思いますが、踏み込めない日々が続いています。震災から2年以上が経ちましたが、きつとこれからが私たちの時間ややってくるのだと思います。浪江の皆さんとのつながりを大切にしながら頑張っていきたいと思います。

浪江の
こころ通信

・第24号・

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、福島県内外に分散避難した浪江町民。長期化する避難生活、先の見えない不安の中で、町民の皆さんがどのような思いで生活し、ふるさとへの思いを抱いているのか。

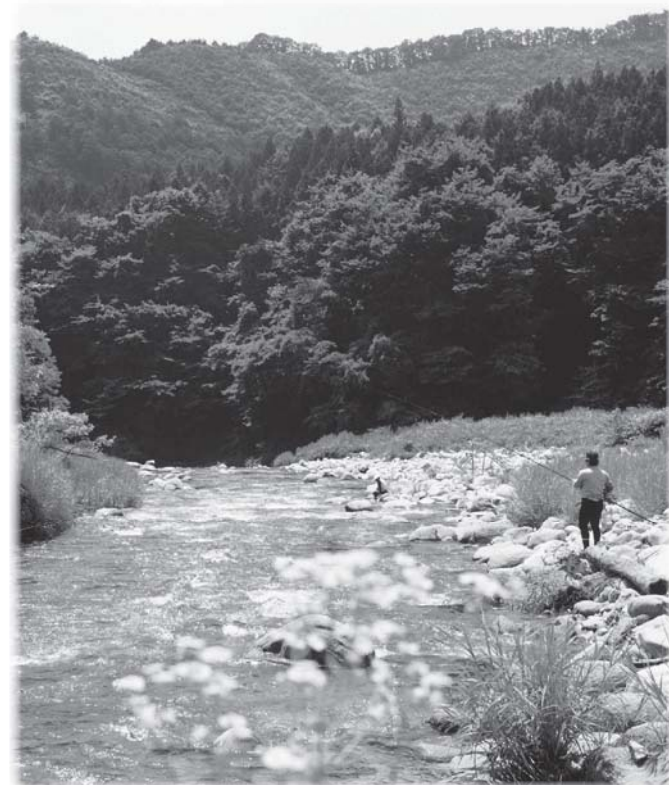
こうした町民の思いをつなげるために、“浪江のこころプロジェクト”が立ち上げられました。一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム(※)が中心となり、全国各地のNPO、大学等の皆さんが取材を進め、浪江町との連携のもと「浪江のこころ通信」が編集・発行されます。

浪江のこころプロジェクトは、分散避難している町民の皆さんの声を「浪江のこころ通信」を通してお届けし、ふるさと浪江町がかつての暮らしを取り戻すことへの願いとこだわりを発信・共有しようとするものです。

※一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアムは、東北圏(7県)の地域コミュニティ再生や協働のまちづくりの推進を目的として、大学、NPO、企業、経済団体、行政等が連携したコミュニティ支援ネットワーク。仙台が本拠地。

「浪江のこころ通信」第24号への
感想をお寄せください。

【連絡先】〒964-0984 福島県二本松市北トロミ573番地
「浪江のこころ通信」宛
FAX.0243-22-4218





吉田 直子さん(荻宿)

取材者：NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 大内・井戸川
取材日：5月8日

前へ進んでいきたい



息子さんと養豚業を営んでいた吉田さん。現在は千葉県松戸市で娘さんとの二人暮らし、前へ進んでいきたいと、野菜づくりを始められました。

豚舎の屋根の上で修理をしていた時、震災が起きました。思わずそのまま屋根にうつぶせになり落ちずにすみました。主人が6年前に亡くなりその後、長男と1,800頭の豚を育ててきました。主人がいない事もあり、日頃から何かの事故が起きた時に備え、気をつけていたが、まさかこのような震災が起ころうとは思ってもみませんでした。

避難するその日、最後の餌を与え、豚舎の扉を全部閉め、こ

松戸に来てからパン屋に勤めていました。子ども達から「十分働いたのだから好きなことをやれ」と言われたのをきっかけにパン屋を辞め、震災前からやりたかった畑をやろうと思い立ちました。『田舎で暮らしたい』と小さい頃から言っていた私にとって、風が抜けない都会の生活は辛いものです。しかしこちらに来て知り合った人は皆さんとても親切で、私がいつか、畑をやりたいと話すと、早速あちこちの農家に聞いて下さいました。そのお陰で今は週に三日程

ではありますが、農家のお手伝いをしながら野菜づくりを勉強中です。畑まで自転車40分かけて通っていますが、畑の作業が楽しみで苦になりません。いつか畑の一角に家を建て、毎日畑仕事をしたいと思っています。震災後しばらくして、逃げ出した豚に家を荒らされたという話を聞いて、迷惑をかけて申し訳ないという気持ちでいっぱいになります。一時帰宅した際、豚舎が綺麗に片づけられたのを見た時にも、放射線量の高い場所で作業してくださった方のお話を思い辛くなりました。

私は、まさか浪江を出ることになるとは考えもしませんでした。今すぐに戻るのには無理のこ



中村 秀之さん(川添)

取材者：NPO法人山形の公益活動を応援する会・アミル 柴田
取材日：4月28日

子どもたちの成長していく姿が楽しみです

中村さんご家族は、山形市のアパートで皆さん一緒に暮らしています。孫の心優ちゃんも生まれ、にぎやかに過ごしています。

震災当日、私は青森に出張しており、次の日の夜やっと浪江町に帰ることができましたが、もう町には誰もいない状態で、家族とは津島の避難所で合流することができました。妻・明日美の兄を頼り矢吹町に避難し、義理の姉が山形県出身だったことがきっかけで、まず山形県高畠町へ避難することを決めました。そこでは子どもさんがいる浪江町のご家族とも会え、今も連絡を取り合っています。その後、仕事や利便性も考えて2年



▲左から 暁咲さん、文音ちゃん、安李ちゃん、天音ちゃん

前の6月、山形市に暮らすことを決めました。避難当初の荷物は毛布5枚だけ。部屋の中はすごくガランとしていて、広いねと話したこと覚えています。今は、子どもたちの学習机や家具も揃い、狭いくらいで賑やかに過ごしています。

4人の子どもたちは、それぞれ高校・中学校・小学校・幼稚園に通っていました。避難生活がこんなに長くなるとは思わず、学校のことが一番不安でした。町の友達と離れてさびしい気持ちがあつただろうと思いますが、学校に行きたくないと口にする

「思った」と言われるくらい、いきいき過ごしているのだから、よりだと思っています。機会があれば、浪江町で生活ができることを一番に望んでいます。まだ先のことは考えられませんが、子どもたちの成長にとって、避難後では今が一番良い環境です。町に戻るとしたら、子どもたちが自立した頃に考えようかと思っています。山形県では、認められた理由がない限り、借り上げ住宅の住み替えができないので、これから受験する子どもたちにとって家の中が騒々しいのが心配なところですね。

浪江町復興支援員の方に、いつも交流イベントに誘っていただき感謝しています。子どもたちの浪江町のお友達は県外に避難している子も多く、大きなイベントの時にしか会えないのが残念ですが、こちらで開催される町の交流会に参加して町の皆さんともいろいろお話ししたいと思っています。楽しむという言葉がふさわしいかわからないのですが、今山形で私たち家族らしく毎日楽しく賑やかに暮らすことを大切に過ごしています。



鈴木 竹子さん(棚塩)

取材者：NPO法人市民公益活動パートナーズ 古山
取材日：5月10日

なんでこんな目に遭うのかと、
何度も何度も思いましたよ

津波で地区が流され、さらに原発事故からの緊急避難を強いられ、ようやく6カ所目でこの北幹線応急仮設住宅に落ち着かれたそうです。

あの大震災から3年目となり、隣近所の方々とも親しくお付き合いが出来るようになり、やっと心穏やかな日々を過ごせるようになったとおっしゃいます。その一方で、18歳で室原から嫁入りしてまもなく太平洋戦争を体験し、そして今、東日本大震災と試練続きの来し方を振り返ることもあるそうです。



■息子をちゃんと褒めてやりたかったと、今更のように思います

大地震が起きた時、息子は役場での用を済ませて帰宅し、孫を幼稚園に迎えに行った嫁はあまりの揺れに途中からやっとの思いで引き返して帰っており、サービスに出かけた義母以外はみな一緒でした。なんでもかんだもなく、あの地震の揺れと津波は想像以上にも凄かったです。家族で高台にある棚塩霊園に避難しましたが、地区の水門の係をしていた息子は、家族が引き留めたにも関わらず、責任を感じて海の水門を見に引き返し、

■ここはやはり、仮の住まい。棚塩の皆さんと穏やかに暮らしたい

2011年7月初めに入居しましたが、皆さんがど

今約2カ月を過ごした後、その間に別々に避難していた義母は小田原で亡くなりました。家族が傍にいない心細さや悲しさは言葉に尽くせません。

この地区から避難されているのかもわからず、朝晩のご挨拶ばかりでしたが、最近はお話を言い合ったり、お茶を交換したりしながら打ち解けることが出来るようになってきました。6、7軒は同じ地区の方がいますし、自宅ですべてとお茶飲みをすることもあります。

また、仮設住宅住民でつくる寿会や習字教室にはよく参加したり、桑折町にある浪江町サービスセンターや愛犬を預かってもらっている友人を訪れたりしながら、忙しく毎日を送っています。隣には娘がいますし、日立にいる孫たちも時折訪ねてくれます。ですから、福島市は第2の故郷なのかもしれません。が、それでも、たとえ浪江に戻れなくとも、小さな家でもいいから、同じ地区の人たちと安定した土地で暮らしたいと思っています。

またこの機会に、衣食住に全て事欠いていたあの2年前、地元や全国の皆さまに何度も助けて戴いたことに対して、改めて深く御礼申し上げます。



水野 亮汰さん(権現堂)

取材者：茨城NPOセンター・コモンズ 天井
取材日：5月10日

今の自分を育ててくれた周りのみんなに感謝し、
自分も伝える側として成長していきたい

震災後、南相馬市や棚倉町に避難後、親戚のいる茨城県のひたちなか市に住むことになりました。現在、亮汰さんとお母さん、お兄さん、妹さんと暮らし、お父さんは茨城県内の少し距離のある場所にお勤めされ、お住まいと職場を行き来しながら過ごしています。

今年、3月にひたちなか市で行われたプロバスケットボールチームリーグJBL2のオールスター戦に被災地の高校生代表として出場を果たし、4点を獲得しました。

震災当日は、中学校の卒業式の後、友人と外に出かけている最中でした。夕方、家族と合流し、その後避難しました。避難先で今後の進学のことを家族と考えて、親戚のいる茨城県ひたちなか市に行くことになりました。両親が教育委員会や高校に聞いてまわってくれたこともあり、市内の高校に編入することができました。

今、通っているのは1学年6クラスの普通科の高校です。元々進学を予定していた工業高校で



▲オールスター戦に出場した際のユニフォーム

「良い体験をしてほしい」という顧問の先生の強い勧めもあり、オールスター戦に出場することになりました。試合では、プロ選手と積極的に話ができ、プロ選手の中でもリラックスした状態で楽しくプレーすることができました。

今の自分がいるのは浪江や今の学校の先生や友達やいろいろな方のおかげです。たまに寂しくなったり、考えたり、後ろを見るときもあるけど、みんなそれぞれの場所で頑張っていると思うと立ち止まれないし、自分が立

はバスケットは続けずに、勉強や他の活動に力を注ぐと考えるていましたが、現在の高校のバスケットボール部は楽しく活動できる雰囲気だということもあり、続けることにしました。部活では副キャプテンを務め、新人戦では県大会に出場しました。先生や友人に恵まれ楽しく過ごしています。

今、一番伝えたいことは「感謝」です。それはいつでも伝えられるわけではないし、何かの拍子に伝えられなくなるかもしれない、今、どこにいるかわからない人もいるから、この紙面を通してお世話になっている方に「ありがとう」を伝えたいです。

今後は今までお世話になった先生たちが伝えてくださったように勉強だけではなく、いろいろなことを年下の子たちに教えられる仕事をしていきたいです。

これから先、戻れる時が来たら、中学3年の学園祭の出し物だった映画のロケ地で、遊んだ思い出の詰まった泉田川の土手や浪江町に友人たちと行ってみたいですね。

連絡先一覧

■浪江町役場二本松事務所

〒964-0984
福島県二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243-62-0123 FAX 0243-22-4261

■復興再生事務所

〒975-0039
南相馬市原町区青葉町2-62-2
(前南相馬出張所)
TEL 0244-23-1112 FAX 0244-23-1114

■福島出張所

〒960-8601
福島県福島市五老内町3番1号
(福島市役所9階西側)
TEL 024-535-0750 FAX 024-535-0753

■本宮出張所

〒969-1203
福島県本宮市白岩字堤崎494番地22
(本宮市役所白沢総合支所1階)
TEL 0243-44-1185・1186
FAX 0243-44-1187

■桑折出張所

〒969-1611
福島県伊達郡桑折町字東大隅18番地
(桑折町役場2階)
TEL 024-582-2130 FAX 024-582-2135

■いわき出張所

〒970-8026
いわき市平字堂根町1番地の4
(いわき市文化センター2階第4会議室)
TEL 0246-24-0020 FAX 0246-24-0026

■浪江町議会事務局

〒964-0984
福島県二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243-62-0196 FAX 0243-22-4231

■浪江町教育委員会

〒964-0984
福島県二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243-62-0301 FAX 0243-22-4223

■浪江町社会福祉協議会

〒964-0904
福島県二本松市郭内一丁目81
(浪江町役場二本松第二事務所内)
TEL 0243-62-0877 FAX 0243-23-7970

■仮設津島診療所

〒969-1404
二本松市油井字長谷堂230番地
TEL 0243-24-1431

ここからは広告です。

- ・クレーン作業
- ・工事車両リース・レンタル
- ・トレーラー・トラック運送
- ・一般貨物自動車運送事業



株式会社 伊達重機
【いわき営業所】〒970-8003
福島県いわき市平下平窪字味噌農2-2
TEL 0246-88-1812 / FAX 0246-88-1813
【楢葉営業所】〒979-0606
福島県双葉郡楢葉町上繁岡字小六郎87-14
TEL 0240-25-8753 / FAX 0240-25-8783
【本社】〒979-1504
福島県双葉郡浪江町大字酒田字上原18-7




客室のご案内 (全53室)
タイプ (朝食付き) お一部屋ご宿泊代
シングルルーム 5,400円
ダブルルーム 7,500円
ツインルーム 9,000円
◇ 専用駐車場有 (有料)
◇ 禁煙ルーム有
◇ チェックイン15:00 / チェックアウト10:00
主要アクセス
JR常磐線/高速バス いわき駅南口より徒歩3分

HOTEL なみえ
TEL 0246-24-2555 FAX 0246-22-0512
〒970-8026 福島県いわき市平字南町63-1